

2016 年度 卒業式祝辞

梅村学園総長・理事長 梅村 清英

中京大学の卒業式に当たり、学校法人梅村学園を代表して祝意を述べさせていただきます。皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。お子さまを支えてこられた保護者、ご家族の皆さま方に、心よりお慶び申し上げます。学生を教育、指導してこられた教職員の皆さまに深く感謝いたします。

さて、皆さんの多くが本学の門をくぐられたのは 2013 年春のことでした。入学式は本日と同じこの会場で挙行され、私も学園の理事の一員として壇上にいました。そして、その秋に理事長を務めることになりました。

当時、精力的に取り組んでいたのが中京大学長期計画「NEXT10」の策定でした。開学 60 周年という記念すべき 2014 年に形となり、現在、様々な改革プロジェクトが進行しています。

柱の一つに国際化があり、海外の教育機関との連携協定締結に努めてきました。最初はイタリアのヴェネツィア大学、そして、韓国の学校法人地山学園、さらに、台湾の国立嘉義大学、台北市立大学と続きました。

嘉義大学の前身は日本統治下の嘉義農林学校です。その硬式野球部が 1931 年の夏の甲子園大会で、中京大学附属中京高等学校の前身である中京商業学校と、決勝対決になりました。

それは 80 余年の時を超え、2014 年、台湾映画「KANO」となりました。夢の対決再びということで、両大学硬式野球部の国際親善試合が、去年は日本で今年台湾で実現するなど、交流が深まってきました。

台北市立大学との提携は同窓会台湾支部の協力で実現しました。「NEXT10」の卒業連携が海外の大学との提携につながった初めての例です。中京大学の初めての海外オフィスが台北市立大学の中に設置され、台湾での学生募集など活動を本格化させています。

言うまでもなく、本学の建学の精神は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」、校訓は「真剣味」です。つまりは文武両道であり、それは水戸学の「文武不岐」に由来しています。

梅村学園創立者の梅村清光先生、中京大学開学者の清明先生は水戸出身です。2023 年の創立 100 周年に向けて、様々な記念事業を企画しており、その一つとして水戸市との連携協定締結も実現しました。

目を国内に向けてみます。安倍晋三政権が続いています。経済政策「アベノミクス」により、景気は底堅さを見せています。就職戦線は様変わり、皆さんは売り手市場に恵まれました。

自然は時として牙をむき、人間社会に襲いかかりました。2014 年 8 月に広島市北部で豪雨による土砂災害が発生し、9 月に御嶽山が噴火しました。去年は 4 月に熊本、10 月に鳥取で大地震が起きました。

去年は夏季五輪リオデジャネイロ大会があり、日本は過去最多、41 個のメダル獲得に沸きました。学園関係では選手として 8 人が出場し、これにより、延べ 100 人以上がオリンピックとなりました。

2020 年には東京大会が予定されています。関連のスポーツ・ミュージアム構想が具体化しています。ミズノ株式会社との連携により、トップアスリートの強化・育成を図っています。

日本人のノーベル賞受賞が 2014 年から 16 年までに 6 氏を数えました。このうち、赤崎勇、天野浩の 2 氏らは名古屋にご縁のある方たちで、青色 LED（発光ダイオード）の開

発により、明かりの世界に革命をもたらしました。

モノづくりの中部では三大プロジェクトが進行しています。JR東海のリニア中央新幹線、トヨタ自動車の燃料電池車「MIRAI（ミライ）」、三菱航空機による国産初のジェット旅客機MRJ（三菱リージョナルジェット）です。

本学は、こうした動きに歩調を合わせるかのように工学部を開設しました。その第1期生が本日ここに巣立つことになりました。新年度には、いよいよ大学院工学研究科が誕生します。

時代を読み解くキーワードはやはりグローバリズムです。IoT（インターネット・オブ・シングズ）、AI（人工知能）の深化がそれを後押ししています。

情報の入手や伝達はもちろんのこと、資金の移動すら瞬時となりました。危険性すらはらみながら、それが加速化しています。そして国際社会は不透明さを増しています。

イスラム国（IS）による自爆テロが拡散し、世界各地で、多くの人々が犠牲となりました。難民や不法移民の急増につれて、保護主義の動きが強まっています。その中で、事前の予想を覆す衝撃の事態が起き、その動きから目を離すことができなくなりました。

イギリスが国民投票でEU（欧州連合）からの離脱の道を選択しました。アメリカではドナルド・トランプ氏が新大統領となり、過激な政策を推し進めようとしています。

本学での4年間、長い人生から見ればほんの一時期に、日本が、世界が、これだけダイナミックに動いています。まさに激動の時代です。

その中であって、本学は「自ら考え、行動することのできるしなやかな知識人を育成」していくことを教育目標としています。「しなやか」とは、柔軟で弾力に富んでいる、すなわち、平たく言えば、何事にもくじけない、へこたれない、といった意味です。

皆さんはすでに、そうした資質を十分に備えています。本校卒業という事実で自信を深め、それを誇りとしてください。

卒業生はすでに12万人を超えており、皆さんはその仲間となります。同窓会はこれまでの各都道府県支部に加え、5つの海外支部があり、職域別、さらに学部別の発足が相次いでいます。そこにあるのは絆であり、中京アイデンティティーでしょう。

この時季、桜のつぼみが膨らみ、花開かんばかりとなりました。やがて、春爛漫となりましょう。今日の卒業式は皆さんの可能性をさらに大きく開花させる式典です。

これからも広く、深く学び、多くの友人を作ってください。月日はあっという間に過ぎていきます。「高い志」を持って、怠ることなく、常に校訓「真剣味」で臨んでください。ご卒業、本当におめでとうございます。